

様式第 11 号（第 11 条関係）

（その 1）

（表）
看護職員修学資金返還猶予申請書
（看護師等修学資金・准看護師修学資金）

資金	課程	修 学 生 番 号					

猶予申請額						円	猶予 期間	元号	年	月	か ら	元号	年	月	ま で

※ 1 猶予申請 理由	(1) 修学資金の貸与契約が解除された後、引き続き当該養成施設に在学している。														
	(2) 看護職員の免許を既に取得しており、特定施設において引き続き 5 年間業務従事する見込みである。														
	(3) 養成施設を卒業した日から 1 年 6 月を経過する日までに看護職員の免許を取得する見込みであり、当該免許を取得後、直ちに特定施設において引き続き 5 年間業務従事する見込みである。														
	(4) 産前産後休暇もしくは育児休暇またはこれらに相当する休暇を取得する。														
	(5) 当該養成施設を卒業した後、他種の養成施設または大学院の看護を専攻とする修士課程もしくは博士課程に在学している。														
	(6) 特定施設を退職した後、求職の届出をして他の特定施設に就業する見込みである。														
	(7) 上記のほか、災害、疾病、負傷その他やむを得ない理由により業務に従事できない。 (具体的理由：)														

卒業した養成施設名 (課程まで)							卒業年月	元号	年	月

※ 2 免許 種類		※ 2 免許取得 年月日	元号	年	月	日	※ 2 免許 番号								

※ 3 就業または進学 年月日	元号	年	月	日

※ 3 就業先または進学先	所在地	
	施設名	

※ 4 (就業の場合のみ) 週当たりの業務 時間数	(1) 週30時間以上 (2) 週20時間以上30時間未満 (3) その他 (具体的な内容：)														

上記のとおり修学資金の返還債務の履行の猶予を受けたいので申請します。

年 月 日

(宛先)
滋賀県知事

本人 住所 〒.....

氏名 印

電話番号

(裏)

- 注 1 ※ 1 欄は、該当する項目の番号を○で囲んでください。
- 2 ※ 1 欄の(1)に該当する者は、「就業先または進学先」欄に現在在学する学校名（課程名まで）を記入してください。
- 3 ※ 1 欄の(6)に該当する者は、「就業先または進学先」欄は空欄とし、この申請書と併せて「看護職員修学資金異動届（別記様式第 5 号）その10（離職・求職届出用）」を提出してください。
- 4 ※ 1 欄の(7)に該当する者は、当該事由の発生を証明する書類を添付してください。
- 5 ※ 2 欄は、免許取得後に初めて就業する場合に限り記入し、看護職員の免許証または登録済証明書の写しを添付してください。
- 6 ※ 3 欄は、就業または進学をした場合に記入してください。就業の場合は就業した施設の就業証明書を、進学の場合は在学証明書を添付してください。
- 7 ※ 4 欄は、該当する項目の番号を○で囲んでください。
- 8 ※ 4 欄の(2)に該当する者は、生計を一にする小学校就学の始期に達するまでの子がいる場合にのみ返還猶予の対象になりますので、その事実を証明する書類を添付してください。
- 9 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。